

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	日本文化D		
英文授業科目名	Japanese Culture D		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-日本語・日本文化科目-日本文化科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	亀井 奈保美		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nykamei@camel.odn.ne.jp	なし

【主題および達成目標】
<p>主題： 明治時代から現代までの日本の歴史を学ぶ。</p> <p>達成目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の歴史書を読んで、歴史認識の違いを読み取る。 ・いろいろな日本人の歴史観を知る。 ・批判的に資料を読む力を身につける。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
日本文化A、日本文化B、日本文化C

【教科書等】
教科書：藤岡信勝ほか 「新しい歴史教科書」（扶桑社）

【授業内容とその進め方】

授業内容：

この授業では日本文化Cで学んだメディア・リテラシーとクリティカル・シンキングの知識をもとに、明治維新以降の日本の歴史について主に以下のことを学ぶ。

- ・日清戦争、日露戦争
- ・伊藤博文暗殺と韓国併合
- ・関東大震災、在日コリアン
- ・満州事変、日中戦争、太平洋戦争
- ・原爆投下は必要だったか
- ・東京裁判と靖国問題、731部隊
- ・正しい戦争はあるか
- ・憲法問題と自衛隊の国際貢献
- ・米軍基地
- ・戦後の復興と公害問題、これからのアジア

授業の進め方：

教科書、プリント、ビデオを使い、講義、ディスカッションを中心に授業を進める。毎回授業の最後にその日の授業のまとめを提出する。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

授業で学習した内容について積極的に日本人と意見交換し、様々な日本人の歴史観を知ることが期待される。そして、自分や他の人達との歴史観の違いを認識してその原因を追究し期末レポートのテーマ探しに役立てる。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

出席と課題提出、授業参加 50%
期末レポートと発表 50%

評価基準：

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- ・60%以上の出席、課題の提出と授業中のディスカッションへの参加。
- ・期末レポートの期限内提出と発表。レポートでは自分の考えを主張してその根拠を示すことが出来る。そして、対立する意見についての主張を示し自分の意見の正当性を論理的に述べていることが求められる。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【学生へのメッセージ】
普段から日本人と接することを心がけ、興味ある歴史的事項に関して意見交換し日本人の歴史観を知って様々な歴史観があることを実感してください。

【その他】
なし